



アクティブシティ推進事業

スポーツでアクティブなまちづくり、はじまります



アクティブシティ推進事業とは？

笹川スポーツ財団 (SSF) では、地域のスポーツ課題や社会課題に対し、スポーツの多様な価値を活かし、課題解決およびまちづくりを目指す基礎自治体に伴走する取り組みとして、2024年、新たに「アクティブシティ推進事業」をスタートしました。



アクティブシティ推進事業を構成する 3つのプログラム

仕組みをつくる

アクティブシティ推進プラットフォーム

スポーツ関係組織とまちづくり関係者が集う、官民連携のプラットフォームを核に、スポーツ推進や地域課題の解決に取り組む。

構成部門・団体

行政 政策企画部門・スポーツ部門・課題解決を目指す部門が分野横断で参画

民間 スポーツ団体、民間まちづくり団体、社会福祉協議会、市民活動団体、地元企業 など



人をつくる

ACフェロー育成プログラム



地域でスポーツによるまちづくりの中心的な役割を担う人材を育成する研修プログラム。

仕掛けをつくる

SSFアクティブチャレンジ ～スポーツで元気なまちづくり～



2023年度まで30年以上実施した全国イベント「チャレンジデー」に代わる、新たなSSFの住民総参加型スポーツプログラム。

詳しくはこちら

アクティブシティ推進事業

検索



いつでも



どこでも



何でも



アクティブ チャレンジ

スポーツで元気なまちづくり

SSFアクティブチャレンジ～スポーツで元気なまちづくり～は、
運動・スポーツを通じた健康づくりや、まちづくり関係者のコミュニティづくり、
地域の課題解決のきっかけとして活用していただく事を目的とした、
住民総参加型のプログラムです。



住民総参加の運動・スポーツプログラムの実施を支援

いつでも

毎年4月1日～1月31日
の期間であれば、
開催期間は自由！

どこでも

開催自治体内であれば、
場所は
どこでもOK！

何でも

運動・スポーツであれば、
どんな種目・
競技でもOK！

最大
20万円
の助成

スポーツで地域の社会課題の解決にチャレンジする

住民総参加プログラムの実施を支援

(実施例)



障害理解の
促進

在住外国人との
交流



働く世代の
まちづくりへの参画

子育て支援



防災意識の
向上

最大
60万円
の助成

アクティブチャレンジについてご興味をお持ちの自治体および
ご関係者の方は、オンライン相談のサービスをご活用ください。

オンライン相談はこちら ▶



SSFアクティブチャレンジの 実施自治体を募集します

実施期間

毎年4月1日～1月31日の期間で自由に設定

実施例)

デイリー実施 …… 5月27日など

ウィークリー実施 …… 5月25日～5月31日など

マンスリー実施 …… 毎月最終水曜日など

実施主体

各自治体の実行委員会

行政のスポーツ課・健康福祉課・観光課等、スポーツ関連団体、商工会、学校、町内会などで構成

種目・競技

運動・スポーツに関するプログラムであれば、種目・競技は不問

SSFアクティブチャレンジ実施に必要な経費を総額の80%まで助成

実施形態Ⅰ

住民 総参加型

要件

- 1 性別、年代問わず、住民誰もが気軽に参加できるよう、対象者、実施時間、実施場所が異なる複数のスポーツプログラムを実施する。
- 2 住民総参加を目指して住民に広く呼び掛ける。
- 3 運動・スポーツを実施していない人を対象としたプログラムを実施する。
- 4 期間中の参加者数(のべ参加者で可)を集計する。
- 5 事業の実施に当たり実行委員会を組織する。(委員長は首長でなくてもよい)

助成金

最大 **200,000円**

実施形態Ⅱ

社会課題 解決型

要件

- 1 実施形態Ⅰの要件を満たす住民総参加型のプログラムを実施する。
- 2 スポーツプログラムの1つ以上を、スポーツを通じて地域課題の解決に寄与するプログラムとして実施する。

助成金

人口35,000人未満 > 最大 **500,000円**

人口35,000人以上 > 最大 **600,000円**



オンライン相談はこちら

<https://www.ssf.or.jp/dotank/activecity/activechallenge/about/followup.html>